

NPO 法人さんしょうの会

2025年度 総会議案書

第1号議案	2024年度事業報告に関する件	
	・法人全体及び各福祉サービス事業所の事業報告	(1)～(4)
第2号議案	2024年度会計報告に関する件	
	・活動計算書・貸借対照表・財産目録・財務諸表の注記	(5)～(10)
	・監査報告書	(11)
第3号議案	2025年度事業計画に関する件	
	・法人全体及び各福祉サービス事業所の事業計画	(12)～(15)
第4号議案	2025年度会計計画に関する件	
	・活動予算書	(16)
その他	団体会員に関する件	(17)
参考資料	2025年度役員名簿	(17)

NPO法人さんしょうの会 2024年度の事業報告

2024年4月1日から2025年3月31日まで

特定非営利活動法人さんしょうの会

1 事業の成果

きららハウス・第2きらら、きららの家この3つの事業所が共通して大事にしていることは、利用者ひとり一人の願いと要望に寄り添い、個性と自己決定権を尊重した日中活動等の充実に努めることであり、そのための共通認識に必要な会議や研修、環境整備等を図ってきた。今年度は、きららの家に設置された特殊浴槽の完成披露会を開催して、皆さんに知らせ、利用の拡大を図ってきた。

毎月の拡大理事会において、それぞれの事業所の活動報告や計画の確認を行い、環境整備や職員の待遇改善等について、検討を行ってきた。送迎車については、「岐阜県愛のともしび基金」の補助を受け、新車を購入することができた。また、感染症予防や虐待防止研修等を行い、安全対策に努めてきた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に関する事業

事業名	具体的な事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額(概算)(単位:千円)
福祉サービス事業	生活介護・就労継続支援B型(多機能型)	(A)毎週月～金(土) (B)きららハウス 第2きらら (C)19人	(D)利用契約者 (E)45人	90,327
	短期入所(単独型)	(A)毎週月～金(土) (B)きららの家 (C)8人	(D)利用契約者 (E)24人	
余動暇活	2月15日にルーム335にて、新年会を行った。			(E)60人 86
学習会	職員研修として、感染症対策や虐待防止についての研修を行った。			0
地域交流事業	・高山赤十字病院での販売 ・高山市図書館での販売 ・山ゆり学園夏まつり ・飛騨古城特別支援学校 文化祭 ・市役所での販売 ・総合庁舎での販売 ・児童館バザーでの販売	(A)8/6,1/7,2/7(C)3人 (A)1/20,3/17(C)3人 (A)8/17 (C)9人 (A)11/30 (C)3人 (A)8/22,1/23,2/21(C)3人 (A)6/18,11/5 (C)3人 (A)2/24 (C)3人	(D)地域住民 (E)不特定多数	0
支子業援育	実施できず			0

生活介護・就労継続支援B型事業所 きららハウス活動報告

自分の居場所として安心して過ごす事のできる環境を提供し、どのように過ごし、働くか等を自己決定し、利用者自身が主体的に、自らの生活を築き上げていく事が出来るよう支援した。
パン製造販売や座布団作りに力を入れ様々な授産品販売会等に積極的に参加した。
医療関係諸機関と連携し、健康維持、体調管理を行い、感染予防対策に努めた。

2025年5月25日現在利用状況

契約者 生活介護:21名(定員12名) 就労継続支援B型:14名(定員13名)
職 員 ・管理者1名 ・サービス管理責任者1名 ・生活支援員7名(内2名兼務)
・職業指導員1名 ・看護師3名 ・医師1名

作業内容	パン作業 3226(千)	パン作り、販売を通して自分の役割を持ち、達成感をもち取り組んだ。 販路拡大に努めて売り上げを回復した。
	型紙作り 368(千)	型紙を切り抜く作業に取り組んだ。(委託)
	図書館清掃 347(千)	毎週水曜日、月4回外回り清掃を行った。(委託)
	物資販売 129(千)	きょうされんの物資販売に季節ごとに取り組んだ。(委託)
	生協86(千)	木曜日にビニールとり、チラシの仕分け、荷物運び、商品の仕分け作業、生協利用者への引き渡しを行った。(委託)
	座布団 40(千)	靴下の製造の廃材で座布団を作った。バザーで販売した。
	その他 8(千)	小物等バザー販売した。
日常生活		感染予防対策:アルコール消毒を玄関に設置、検温、マスクの使用、うがいの実施等を励行した。 講師を招いて音楽の会を行った。 室温・湿度など快適な環境管理に努めた。 利用者の様子の変化等について保護者と連絡・連携を図って支援した。 土曜日運営を行った。
工賃形態		作業収益から材料費を除いた収入を工賃として分配した。 基本給:4000円(ただし利用日が10日未満の場合:300円×利用日数) 分配金:時給(生活介護500円、就B600円)×就業時間 一時金:利用日数に応じて夏と冬に支給した。
研 修		職員会でケース、運営の会議を行い、職員間の意思統一を図った。 虐待防止研修、身体拘束適正化研修、を行った。 虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会、感染症対策検討委員会行う。 BCPシミュレーションを行い、見直した。 月1回虐待防止チェックリストにて事業所評価及び自己評価を行った。
送 迎		利用者の要望に応じて実施。 6ヶ月、12カ月点検実施。
そ の 他		実習生・個人の見学者等の受け入れを積極的に行った。 モニタリング(9月、3月)個別支援計画の作成(4月、10月)を行った。 内科検診を実施した。(4月、10月、12月、2月) 通報訓練、避難訓練を実施した。(4月、10月)

生活介護事業所 第2きらら 活動報告

安心して生活できる場所となれるよう、利用者自身の思いや自己決定を尊重し、1日の流れを理解して主体的に過ごせるよう具体的な声かけや、対応によって支援を行った。

1日の生活に作業と余暇活動を取り入れ、気分転換を図りながら落ち着いて過ごせるよう支援した。

検温、手洗いの励行、消毒、換気などの感染予防対策を行った。

感染予防対策を行った上で、音楽の会、美術の会、ドライブ、公園で散歩等を行った。

土曜日利用では、余暇活動を主にして行った。

家族と密に連絡を取り、体調管理を行い、安心、安全に生活できるよう支援した。

「岐阜県愛のともしび基金」の補助を受け送迎車を購入（買換）し、11月より運行を行った。

2025年5月25日現在利用状況

契約者 生活介護 8名（定員8名）

職 員 管理者1名 サービス管理責任者1名 生活支援員4名 看護師2名 医師1名

作業内容	パン販売 877(千)	きららのパンの受け取り、店頭販売、訪問販売を役割分担し、協力して行った。 感染予防のため販売人数を減らしたり、外での販売を行った。
	型紙作り 136(千)	それぞれに合った道具を用いて取り組むことができた。(委託)
	通信発送他 12(千)	それぞれ役割を分担し、協力して作った封筒で通信発送他を行った。(委託)
	郵送代行 90(千)	郵送代行として封筒のハンコ押し、冊子入れを行った。(委託)
	きょうされん発行物発送 96(千)	冊子折り、帯折り、帯挟み、発送を役割分担しながら行った。(委託)
	野菜袋詰め 311(千)	袋に3本ずつ入れるという見通しが持ちやすい仕事であり、それぞれが自分なりの目標を持ち参加できていた。(委託)
	封筒作り、販売、座布団販売 112(千)	それぞれに役割を分担して作り上げ店頭、注文を受けて販売した。
	その他の作業 133(千)	きょうされんの物品販売に取り組み利用者のボーナス支給に充てた。(委託)
日常生活		感染予防対策を行いながら、散歩、ドライブ、図書館などの外出で気分転換し、落ち着いて生活することができた。 月2回の音楽の会では、皆で音楽に合わせて体を動かしたり、仲間と活動する喜びや楽しさを感じられるよう支援した。 土曜日の活動として、皆でのテイクアウトの食事やドライブなどを行った。 月1回の美術の会では、いろいろな絵の描き方を体験した。 月1回、歯科衛生士協会の御厚意で歯磨き指導、口腔ケアを行った。 安心安全に過ごせる快適な環境整備を行い、健康状態について保護者と連絡、連携を図って支援した。
工賃形態		作業収益から材料費を除いた収入を工賃として分配した。 基本給:4000円(ただし利用日が10日未満の場合:400円×利用日数) 分配金:時給(500円)×就業時間 一時金:利用日数に応じて夏と冬に支給した。
地域交流		パンや座布団、封筒などの販売を通して、地域の方々との交流が広がった。
研修		職員会でケース、運営の会議を行い、職員間の意思統一を図った。 虐待防止研修、身体拘束適正化研修、BCPのシミュレーションの検討を行った。 虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会、感染症対策検討委員会を行った。 月1回虐待防止チェックリストにて事業所評価及び自己評価を行った。
送迎		送迎車2台の運行により利用者の希望に沿った運行ができた。
その他		実習生、支援学校の教師、親、学生など見学者の受け入れを行った。 モニタリング(9月、3月)、個別支援計画(4月、10月)の作成を行った。 内科検診(4、10、1、3月)、避難訓練及び通報訓練(4月、10月)を行った。

短期入所事業所 きららの家 活動報告

延べ利用者数1816人 延べ利用日数250日 月平均延べ利用者数151人

事前に男性の利用日と女性の利用日を設定してから希望を取り、スケジュール調整を行って利用予定を作成した。目標の月平均利用者数140名を超え、安定した運営ができた。
特殊浴槽の利用を開始。職員配置や送迎など、対応可能な範囲で活用できた。年末年始の特別利用も利用者の希望に応じて実施できた。

感染予防対策を徹底した。

職員間で情報を共有し、一人ひとりが安心して利用する事が出来るよう、体調や体質、特性に合わせた対応を行うことで、大きな混乱もなく利用をすることができた。

高山市と「災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を結んでいるが、今年度も大きな災害はなく要請はなかった。備蓄用の食料と水は消費期限を確認し管理している。消費期限が切れた水は、生活排水（トイレを流す等）に使う為に保管している。

利用スケジュールの調整	毎月15日までに翌月の利用希望を把握し、25日までに利用計画を作成。利用者及び保護者に配布を行った。
入浴	利用者の希望と要介助者の入浴時間を調整しながら、円滑に入浴できた。 足元の滑り止めマットや介助用イス等の使用により、安全に入浴できた。 特殊浴槽を利用し、一般入浴が難しい人も安全に入浴できた。
食事	夕食は弁当、朝食はパンやおにぎり及び飲み物とした。可能な方は自室で食事する、リビングで食事をする人は時間をずらす等、密にならないように対応した。
排泄	一人ひとりの排泄リズムに合わせてオムツの交換、トイレへの誘導を行った。
就寝	午後10時を就寝時間とし、それ以降は居室で過ごせるよう支援した。しかし、トイレに何回も行く、眠れない等で午後10時以降もリビングで過ごす事があった。
生活	それぞれの生活リズムを把握し、利用者同士のトラブルが起こらないように努めた。空気清浄機を設置、検温、手洗い、消毒、マスクの着用、換気等を適切に行い、コロナやインフルエンザ等の感染力の強い疾病の予防に努めた。
研修	虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会、感染症対策委員会で話し合われた内容を職員会で共有し、利用者支援のあり方等を確認し合い、職員間での意思統一を図った。月1回虐待防止チェックリストにて事業所評価、自己評価を行った。BCPのシュミレーションをし、見直しを行った。
その他	避難訓練を4月と10月に行った。

活 動 計 算 書

2024年 4月 1日 から2025年 3月 31日 まで

特定非営利活動法人 さんしょうの会
(単位：円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員会費収入	110,000		
一般会員会費収入	30,000	140,000	
2. 受取寄附金			
寄付金収入	1,392,000	1,392,000	
3. 受取助成金等			
地方公共団体助成金収入	170,289		
受取地方公共団体補助金	1,248,600	1,418,889	
4. 事業収益			
生活介護事業給付費	56,077,418		
訓練等事業給付費	12,947,086		
作業収入	6,290,146		
その他事業収入	28,500		
短期入所事業給付費	15,658,328		
事業雑収益	10,930	91,012,408	
5. その他収益			
受取利息・配当金	7,323		
管理雑収益	10,088	17,411	
経常収益計			93,980,708
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
職員給与	39,261,565		
非常勤職員給与	18,234,620		
利用者工賃	3,917,500		
法定福利費	8,559,639		
退職共済掛金・退職金	2,160,000		
福利厚生費	249,195		
人件費計	72,382,519		
(2) その他経費			
パン材料費	1,523,710		
その他事業材料費	86,568		
売上原価計	1,610,278		

業務委託費	8,800		
燃料費	1,267,953		
通信運搬費	395,188		
消耗品費	1,263,172		
修繕維持費	1,002,204		
水道光熱費	1,794,204		
賃借料	3,720,000		
減価償却費	5,786,889		
保険料	717,696		
租税公課	164,250		
教養娯楽費	185,976		
雑費	117,237		
その他経費計	16,423,569		
事業費計		90,416,366	
2. 管理費			
(1) その他経費			
会議費	4,043		
通信運搬費	35,730		
消耗品費	20,016		
修繕費	17,600		
賃借料	13,860		
業務委託費	363,030		
支払利息	37,158		
雑費	27,772		
その他経費計	519,209		
管理費計		519,209	
経常費用計			90,935,575
当期経常増減額			3,045,133
III 経常外収益			
1. 固定資産売却益			
固定資産売却益	49,619	49,619	
経常外収益計			49,619
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			3,094,752
法人税、住民税及び事業税			72,000
当期正味財産増減額			3,022,752
前期繰越正味財産額			57,183,983
次期繰越正味財産額			60,206,735

貸 借 対 照 表

2025年 3月 31日 現在

特定非営利活動法人 さんしょうの会
(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	15,748,440		
介護・訓練等給付未収金	13,505,546		
その他未収入金	227,020		
立替金	17,795		
流動資産合計		29,498,801	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
建物	20,975,321		
車両運搬具	5,077,085		
什器備品	3,204,311		
建物附属設備	4,250,933		
有形固定資産計	33,507,650		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
出資金	10,000		
グループホーム積立預金	4,000,000		
預け金 リサイクル料	59,120		
投資その他の資産計	4,069,120		
固定資産合計		37,576,770	
資産合計			67,075,571
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払給与	2,265,219		
未払金	157,117		
未払法人税等	72,000		
預り金	0		
流動負債合計		2,494,336	
2. 固定負債			
長期借入金	4,374,500		
固定負債合計		4,374,500	
負債合計			6,868,836
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		57,183,983	
当期正味財産増減額		3,022,752	
正味財産合計			60,206,735
負債及び正味財産合計			67,075,571

財 産 目 録

2025年 3月 31日 現在

特定非営利活動法人 さんしょうの会
(単位:円)

科 目		金 額		
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金				
現金	きららパン作業所	15,000		
現金	きらら小口	0	15,000	
普通預金				
十六銀行	本部	1,437,213		
飛騨信用組合	本部	3,523,765		
高山信用金庫	本部・車両購入	3,433,041		
飛騨信用組合	きらら	453,839		
飛騨信用組合	きらら(生協含)	1,618,958		
飛騨信用組合	第2きらら	111,241		
飛騨信用組合	きららの家	141,949		
飛騨信用組合	お風呂設置の会	2,769,532		
ゆうちょ	本部	1,057,954		
ゆうちょ	振込口座用	710,247		
ゆうちょ	第2きらら	475,701	15,733,440	
介護・訓練等給付未収金				
岐阜県国民健康保険団体連合会				
介護・訓練等・短期入所給付金 2・3月分			13,505,546	
その他未収入金				
作業収入			227,020	
立替金				
高山税務署 年末調整超過額			17,795	
流動資産合計			29,498,801	
2. 固定資産				
(1) 有形固定資産				
建物				
きららハウス・第2きらら・パン工房・きららの家等			20,975,321	
建物附属設備			4,250,933	
車両運搬具				
送迎用車両等			5,077,085	
什器備品				
エアコン・レンジ・工房部品・複写機等			3,204,311	
有形固定資産計			33,507,650	
(2) 無形固定資産				
無形固定資産計			0	
(3) 投資その他の資産				
出資金	飛騨信用組合	10,000		
グループホーム積立預金	飛騨信用組合	4,000,000		
預け金	リサイクル料 6台	59,120		
投資その他の資産計			4,069,120	
固定資産合計			37,576,770	
資産合計				67,075,571
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払給与			2,265,219	
未払金			157,117	
未払法人税等			72,000	
預り金			0	
流動負債合計			2,494,336	
2. 固定負債				
長期借入金	飛騨信用組合 お風呂設置の会	4,374,500		
固定負債合計			4,374,500	
負債合計				6,868,836
正味財産				60,206,735

計 算 書 類 の 注 記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準によっています。

(1) たな卸資産の評価方法

最終仕入原価法を採用しています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

・ 有形固定資産

法人税法の規定に基づく定率法を採用しています。ただし、建物・建物附属設備については定額法を採用しています。

・ 長期前払費用

法人税法の規定に基づく期間均等償却を採用しています。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物	36,825,704		0	36,825,704	-15,850,383	20,975,321
建物附属設備	8,878,980		0	8,878,980	-4,628,047	4,250,933
車両運搬具	12,471,807	3,326,720	2,869,030	12,929,497	-7,852,412	5,077,085
什器備品	4,536,777	4,446,090	0	8,982,867	-5,778,556	3,204,311
				0		
合 計	62,713,268	7,772,810	2,869,030	67,617,048	-34,109,398	33,507,650

3.事業別損益の状況

特定非営利活動法人 さんしよの会
(単位：円)

2024年 4月 1日 から2025年 3月 31日 まで

勘定科目名	福祉サービス事業						子育て支援事業	余暇活動事業	管理	合計
	生活介護	訓練等給付費事業	きららの家事事業	作業合計						
				パン作業	その他の作業					
I 経常収益										
1 受取会費				0	0	0			140,000	140,000
2 受取寄附金	0			0	0	0			1,392,000	1,392,000
3 受取助成金等	0		248,600	0	0	248,600			1,170,289	1,418,889
4 事業収益	56,088,348	12,947,086	15,658,328	4,400,050	1,890,096	6,290,146	28,500	0	0	91,012,408
5 その他収益	0			0	0	0			17,411	17,411
経常収益計	56,088,348	12,947,086	15,906,928	4,400,050	1,890,096	6,290,146	28,500	0	2,719,700	93,980,708
II 経常費用										
1 人件費										
職員給与	26,000,927	6,001,893	7,258,745	0	0	0	0	0	0	39,261,565
非常勤職員給与	12,075,856	2,787,516	3,371,248	0	0	0	0	0	0	18,234,620
利用者工賃	0	0	0	2,111,700	1,805,800	3,917,500	0	0	0	3,917,500
法定福利費	5,668,611	1,308,507	1,582,521	0	0	0	0	0	0	8,559,639
退職共済掛金・退職金	1,430,458	330,198	399,344	0	0	0	0	0	0	2,160,000
福利厚生費	165,029	38,094	46,072	0	0	0	0	0	0	249,195
人件費計	45,340,881	10,466,208	12,657,930	2,111,700	1,805,800	3,917,500	0	0	0	72,382,519
2 その他経費										
材料費等	0	0	0	1,523,710	5,500	1,529,210	81,068	0	0	1,610,278
会議費	0	0	0	0	0	0	0	4,043	0	4,043
燃料費	887,499	378,461	0	0	0	0	1,993	0	0	1,267,953
通信運搬費	216,034	49,868	72,699	0	56,587	395,188	0	35,730	0	430,918
消耗品費	531,111	122,598	237,987	367,966	110	368,076	0	23,416	0	1,283,188
修繕維持費	814,248	187,956	0	0	0	0	0	17,600	0	1,019,804
水道光熱費	726,793	107,126	960,285	0	0	0	0	0	0	1,794,204
賃借料	2,047,393	472,607	1,200,000	0	0	0	0	0	0	3,733,860
減価償却費	1,977,020	456,363	3,253,469	100,037	0	100,037	0	13,860	0	5,786,889
保険料	577,787	126,909	13,000	0	0	0	0	0	0	717,696
租税公課	133,446	30,804	0	0	0	0	0	0	0	164,250
業務委託費	8,800	0	0	0	0	0	0	363,030	0	371,830
教養娯楽費	148,660	34,316	0	0	0	0	3,000	0	0	185,976
支払利息	0	0	0	0	0	0	0	37,158	0	37,158
その他事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	88,913	20,524	7,800	0	0	0	0	27,772	0	145,009
その他経費計	8,157,704	1,987,532	5,745,240	1,991,713	62,197	17,944,386	86,061	522,609	0	18,553,056
経常費用計	53,498,585	12,453,740	18,403,170	4,103,413	1,867,997	5,971,410	86,061	522,609	0	90,935,575
当期経常増減額	2,589,763	493,346	△ 2,496,242	296,637	22,099	318,736	△ 57,561	2,197,091	0	3,045,133

監査報告書

特定非営利活動法人 さんしょうの会

理事長 熊崎元康 殿

令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度における会計の監査について、次のとおり報告します。

1. 監査方法の概要

会計監査については、帳簿並びに関係書類の一覧、関係者からの意見聴取など必要と思われる監査方法により計算書類の正確性を検討しました。

2. 監査結果

令和6年度の活動計算書、貸借対照表及び財産目録は、その各金額が、理事より提示又は提出された会計帳簿の記載金額との突合により一致していることを確認し、法人の収益、費用及び財産の状況が正しく表示されていると認めます。

各会計帳簿は、事業ごとに活動事実をありのままにすべてを適時かつ正確、適法、明瞭に経理処理・記載され、事業年度ごとに整理・保存されていることを認めます。

令和7年5月21日

特定非営利活動法人 さんしょうの会

監査委員 山本和好



監査委員 奈木良平



NPO法人さんしょうの会 2025年度の事業計画

2025年4月1日から2026年3月31日

特定非営利活動法人さんしょうの会

1 事業実施の方針

利用者や保護者のニーズと、地域の要請に対応できる事業所を目指し、活動の充実を図る。

- ・「終の棲家」のグループホーム設立を目指し、学習会を計画し、建設資金の積立を進める。
- ・特殊浴槽が設置された。あらたな事業展開について、検討する。
- ・会員や事業所利用者の余暇活動を、地域の人々や他団体とも協力しながら取り組む。
- ・子育て支援活動として、進路や障がいについての悩み相談の希望があれば、受け付ける。
- ・事業所の環境整備を進め、職員研修の機会を増やし、職員の力量と、利用者へのサービスの質の向上を図る。
- ・利用者のニーズにあった作業内容、利用者の確保と工賃アップを目指す。法令遵守は勿論働きやすい職場を大事にし、職員の処遇手当改善と若手の人材確保に努める。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に関する事業

事業名	具体的な事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (概算) (単位:千円)
福祉サービス事業	福祉サービス事業(多機能型)	(A)毎週月～金・土(月2回) (B)きららハウス・第2きらら (C)19人	(D)利用契約者 (E)45人	90,000
	短期入所事業(単独型)	(A)毎週月～金(土) (B)きららの家 (C)8人	(D)利用契約者 (E)24人	
余暇活動	新成人を祝う会	(A)1月上旬 (B)Room335 (C)10人	(D)会員・近隣住民 (E)60人	100
学習会	職員研修	(A)未定 (B)未定 (C)未定	(D)職員 (E)10人	10
	グループホーム等学習会	(A)夏～秋 (B)未定 (C)8人	(D)会員・希望者 (E)25人	20
地域交流事業	他団体が主催するバザー等への参加	(A)未定 (B)市役所、総合庁舎、図書館 高山赤十字病院 等 (C)8人	(D)地域住民 (E)不特定多数	10
子育て支援活動	子育て相談等	(A)未定 (B)未定 (C)未定	(D)会員・希望者 (E)未定	100

生活介護・就労継続支援B型事業所 きららハウス活動計画

一人一人の思いを大切にする支援姿勢、理念を忘れず、利用者の自己決定を保障する支援を行う。
 利用者の主体性や、工賃への要求を引き出し、仕事への意欲が高まるように努める。
 パンや座布団などの販売を通し、地域の人たちとの交流を図り、活動への理解を深める。
 生活介護事業では、安心安全に利用できる環境整備、体制づくりを行う。身体機能への支援及び医療的ケアの提供を行う。日中活動においてはより生活経験を広げる取り組みを進める。
 就労支援センター、生活支援センター、医療機関等と連携を図る。

作業内容	パン作業	パン作り、販売を通して自分の役割を持ち、地域の人たちと関わりを持てるように支援する。新商品の開発、販売先の開拓を図る。利用者の主体性が発揮されるように支援する。
	型紙作り	型紙を切り抜く作業に取り組む。(委託)
	図書館清掃	公共施設である図書館の清掃活動に関わり、社会的役割を果たす責任や誇りをもって取り組む。(委託)
	物資販売	きょうされんの物資販売に季節ごとに取り組む。(委託)
	生 協	生協の準備、ビニールとり、荷物の積み下ろし、仕分け作業など、作業工程の中で仲間が参加できる体制づくりをする。(委託)
	座布団	靴下の製造の廃材で座布団を作る。バザーで販売する。
	その他	小物等バザー販売する。
日常生活		感染力の強い疾病に対して予防対策に取り組んでいく。 講師を招いて音楽の会を行う。 安心、安全に過ごせる環境の整備を行う。 健康維持、健康管理、日中活動をより豊かに広げるように考察していく。 土曜日の運営を行う。
工賃形態		作業収益から材料費を除いた収入を工賃として分配する。 基本給:4000円(ただし利用日が10日未満の場合:300円×利用日数) 分配金:時給(生活介護500円、就B600円)×就業時間 一時金:利用日数に応じて夏と冬に分配する。
研 修		職員会議を必要に応じて開き、職員の意思統一を図る。 虐待防止研修、身体拘束適正化研修、BCPのシュミレーションを行う。 虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会、感染症対策検討委員会を行う。 月1回虐待防止チェックリストにて事業所評価及び自己評価を行う。
送 迎		安全管理、安全運行に努める。利用者の希望に沿った運行予定表を作成する。4台の送迎車を効率よく利用し、送迎の時間の短縮、安全の確保などを行う。 送迎利用は生活介護事業の利用者を中心に行う。
そ の 他		実習生、見学者の受け入れを積極的に行う。避難訓練を年2回(4月、10月)実施する。 モニタリング(9月、3月)、個別支援計画の作成(4月、10月)、を行う。 内科検診を行う(年6回)。

生活介護事業所 第2きらら 活動計画

利用者の思いを大切にす支援姿勢、理念で、その時々で場面自己決定を保障する支援を行う。
そのために作業や日中活動を通して、生活経験を広げながら、第2きららでの生活リズムを主体的に築くことができるよう支援する。

利用者同士の関係、販売活動などの地域の方々との交流を通し、刺激を受けることにより新たな人間関係をつくることのできるよう支援する。

作業する、工賃をもらう、生活での楽しみになるという、働く意味につながるよう支援を行う。

身体機能維持のための支援を行う。

職員の資質向上のための学習会や研修を積極的にとり入れ、職員会議で意思統一を図っていく。

土曜日利用することでさまざまな余暇の過ごし方を提供していく。

作業内容	パン販売	きららハウスのパンを販売することで、自分たちの役割を持ち、地域の人たちと関わりを持てるように支援する。
	型紙作り	それぞれの道具を用いて協力して行えるよう支援する。(委託)
	発送代行	ハンコ押し、冊子入れ等それぞれに役割を分担して、発送を行う。(委託)
	野菜の袋詰め	袋に3本入れるという見通しが持ちやすい作業であり、全員が参加できるよう支援する。(委託)
	封筒作り、販売、座布団販売	一つの封筒を作る工程で、それぞれの役割を分担し協力して行えるよう支援する。販売用のサイズの封筒作りも行い、役割を分担し、自分たちで作り、売れる喜びを実感できるよう支援する。バザーなどで販売することで、地域の人たちと関わりを持てるよう支援する。
	その他	きょうされんの物品販売に取り組む。(委託) 作業を通して、ひとり一人が自分の役割を担い、仲間と協力して働く喜びや達成感を感じる事ができるよう支援する。互いのがんばりやできたところを認め合い、共感関係を築いていく。
日常生活		月2回の音楽の会や月1回の美術の会を通して生活の楽しみを広げるよう支援する。 感染力の強い疾病に対して予防策に取り組んでいく。 歯科衛生士協会の協力による歯磨き指導、口腔ケアを行い、保護者と共有する。 安心安全に過ごせる環境の整備を行い、健康維持、健康管理、医療ケアを充実させる。 日中活動において、利用者と一緒に出かけたり、楽しんだりすることを通して、生活の広がりを感じることができるよう支援する。
工賃形態		作業収益から材料費を除いた収入を工賃として分配する。 基本給:4000円(ただし利用日が10日未満の場合:400円×利用日数) 分配金:時給(500円)×就業時間 一時金:利用日数に応じて夏と冬に支給する。
地域交流		パンや座布団の販売、社協の行事への参加を通して地域の方々との交流を図る。
研修		職員会議を必要に応じて開き、職員の意思統一を図る。 虐待防止研修、身体拘束適正化研修、BCPのシュミレーションを行う。 虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会、感染症対策検討委員会を行う。 月1回虐待防止チェックリストにて事業所評価及び自己評価を行う。
送迎		安全管理と安全運行に努める。利用者の希望に沿えるよう運行を行う。
その他		実習生、見学者の受け入れを積極的に行う。 内科検診を年6回、避難訓練を年2回(4月、10月)実施する。 モニタリング(9月、3月)、個別支援計画の作成(4月、10月)を行う。

短期入所事業所 きららの家 活動計画

月の平均延べ利用者数140名以上を引き続き目標とし、安定した健全な運営の実現に努める。

職員間で情報を共有しながら、利用者がリラックスできる環境や安全の確保に努める。

医療的ケアを必要とする利用者の場合は看護師が宿直し、安全に生活できるように対応する。

利用者同士が、お互いの生活リズムを尊重し、安心して生活できるよう支援する。

災害時や緊急時の受け入れ態勢を検討し、社会資源としての役割を果たすため、可能な限り対応できるよう努める。

体調チェック、換気、消毒などの感染予防対策を徹底し、安心して利用できるよう努める。

特殊浴槽を人員や送迎の可能な範囲で活用する。

利用スケジュール の 調 整	毎月5日までに翌月の利用希望を把握し、15日までに利用計画を作成。利用者及び保護者に配布する。
入 浴	自立入浴の利用者の希望と、要介助者の入浴時間を調整し、安心して入浴できるよう支援する。 特殊浴槽を活用し安全な入浴環境を作り、必要に応じて2人介助を行う。 一人ひとりの利用毎に消毒を行う。
食 事	夕食は弁当、朝食はパンやおにぎり、及び飲み物とする。一人ひとりの嚥下状態や咀嚼状態に合わせて刻み食等で対応する。必要に応じて介助を行う。利用後のテーブル等の消毒を徹底する。
排 泄	一人ひとりの排泄リズムに合わせてオムツの交換、トイレへの誘導を行う。
就 寝	午後10時とする。それ以降は居室にて過ごし、他の利用者の迷惑にならないように支援する。
生 活	感染力の強い疾病に対し、作成したマニュアルやチェックリストを活用し予防に取り組む。 安心安全に過ごすことができる環境整備を行う。 互いの障がいや生活の仕方を認め合うことのできる関係を支援する。 利用中の生活マナーを支援する。
研 修	職員会議を必要に応じて開く。利用者支援のあり方等意思統一を図る。 虐待防止・身体拘束適正化の為の研修、感染症の対策の為の研修、BCPのシュミレーションを実施し、職員の資質の向上を図る。
そ の 他	避難訓練を年2回(4月、10月)実施する。 ガス発電機の設備点検、起動訓練を年2回行う。

活動予算書

2024年 4月 1日 ~ 2025年 3月 31日 まで 特定非営利活動法人 さんしょうの会

科 目	2024年度決算	2025年度予算	合 計	備 考
I 経常収益				
1. 受取会費				
正会員会費収入	110,000	110,000		
一般会員会費収入	30,000	35,000		
2. 受取寄附金				
寄付金収入	1,392,000	340,000		
3. 受取助成金等				
地方公共団体助成金収入	170,289	150,000		
受取地方公共団体補助金	1,248,600	700,000		
4. 事業収益				
生活介護事業給付費	56,077,418	56,400,000		きららハウス、第2きらら
訓練等事業給付費	12,947,086	13,000,000		きららハウス
作業収入	6,290,146	6,320,000		
その他事業収入	28,500	30,000		
短期入所事業給付費	15,658,328	15,854,000		きららの家
事業雑収益	10,930	10,000		
5. その他収益				
受取利息・配当金	7,323	8,000		
管理雑収益	10,088	10,000		
経常収益計	93,980,708		92,967,000	
II 経常費用				
1. 事業費				
(1) 人件費				
職員給与	39,261,565	41,000,000		
非常勤職員給与	18,234,620	19,000,000		
利用者工賃	3,917,500	4,000,000		
法定福利費	8,559,639	8,650,000		
退職共済掛金・退職金	2,160,000	2,340,000		中小企業退職共済会
福利厚生費	249,195	250,000		
(2) その他経費				
業務委託費	8,800	10,000		
パン材料費	1,523,710	1,600,000		
その他事業材料費	86,568	100,000		
燃料費	1,267,953	1,250,000		
通信運搬費	395,188	380,000		
消耗品費	1,263,172	1,100,000		
修繕維持費	1,002,204	850,000		
水道光熱費	1,794,204	1,800,000		
賃借料	3,720,000	3,720,000		3事業所家賃、駐車場代
減価償却費	5,786,889	5,200,000		
保険料	717,696	760,000		
租税公課	164,250	165,000		
教養娯楽費	185,976	180,000		
その他雑費	117,237	100,000		
事業費計	90,416,366		92,455,000	
2. 管理費				
(1) その他経費				
会議費	4,043	4,000		
通信運搬費	35,730	35,000		
消耗品費	20,016	25,000		
賃借料	17,600	14,000		
租税公課	13,860	10,000		
業務委託費	363,030	360,000		
支払利息	37,158	38,000		
雑費	27,772	26,000		
その他経費計	519,209		512,000	
経常費用計			92,967,000	
当期経常増減額			0	
III 経常外収益				
1. その他経常外収益				
固定資産売却益	49,619	0	0	
IV 経常外費用				
経常外費用計			0	
税引前当期正味財産増減額	3,094,752		72,000	
法人税、住民税及び事業税	72,000		72,000	
当期正味財産増減額	3,022,752		0	
前期繰越正味財産額	57,183,983		60,206,735	
次期繰越正味財産額	60,206,735		60,206,735	

その他 団体会員に関する件

定款第6条（会員に関する件）の附則

正 会 員（議決権あり） 個人 2,000円
 一般会員（議決権なし） 個人 1,000円
 団体 10,000円（新規）とする

2024～'26年度の役員名簿

2024年 4月 1日から2026年 3月31日まで

特定非営利活動法人さんしょうの会

役 名	氏 名	住 所	就 任 期 間	報 酬
理 事 長	熊崎 元康	岐阜県高山市花岡町3丁目76番地3	2024年4月1日 ～2026年3月31日	な し
副理事長	荒川 美奈子	岐阜県高山市石浦町1丁目561番地	2024年4月1日 ～2026年3月31日	な し
理 事	前川 香織	岐阜県高山市一之宮町4322番地17	2024年4月1日 ～2026年3月31日	な し
理 事	鷺見 奈美子	岐阜県高山市清見町三ツ谷1460番地	2024年4月1日 ～2026年3月31日	な し
理 事	橋戸 治男	岐阜県高山市国府町宇津江2235番地	2024年5月25日 ～2026年3月31日	な し
理 事	山越 裕美	岐阜県高山市千島町1033番地24	2024年5月25日 ～2026年3月31日	な し
監 事	奈木 良平	岐阜県飛騨市古川町上気多706番地	2024年4月1日 ～2026年3月31日	な し
監 事	山本 和好	岐阜県高山市大洞町573番地	2024年5月25日 ～2026年3月31日	な し